

令和 5 年度業務実績に関する項目別評価（案）

令和 6 年 10 月 1 日

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会

第1項 評価結果一覧

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分 % (c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1 公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	(1) 救急医療への対応	4	4	5	20	20
		(2) 災害時における機能の強化	4	4	5	20	20
		(3) 感染症対策の強化	4	4	5	20	20
		(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25	25
					20	85 (4.25)	85 (4.25)
	2 高度・専門医療の提供	(1) がん医療の充実	3	3	5	15	15
		(2) 循環器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		(3) 消化器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		(4) 周産期医療の充実	3	4	5	15	20
		(5) 小児医療の充実	4	4	5	20	20
		(6) センター診療機能の更なる充実	3	3	5	15	15
		(7) 総合診療体制とチーム医療の充実	4	4	5	20	20
		(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	4	4	5	20	20
					40	145 (3.62)	150 (3.75)
	3 安全で信頼される医療の提供	(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底	4	4	5	20	20
		(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目1の合計（14項目）				70	270 (3.85) A	275 (3.92) A

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分 % (c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 自律性・機動性・透明性の高い組織運営	(1) 効率的・効果的な組織運営	4	4	4	16	16
		(2) コンプライアンスの徹底	3	3	4	12	12
					8	28 (3.50)	28 (3.50)
	2 働きやすく、やりがいのある職場づくり	(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	4	4	5	20	20
		(2) 働き方改革の推進	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目2の合計（4項目）				18	68 (3.77) A	68 (3.77) A
3 財務内容の改善に関する事項	1 経営基盤の強化		5	5	5	25	25
	2 収入の確保及び費用の最適化		4	4	5	20	20
	大項目3の合計（2項目）				10	45 (4.50) S	45 (4.50) S
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	(1) 地域社会との協働の推進	3	3	2	6	6
					2	6 (3.00)	6 (3.00)
	大項目4の合計（1項目）				2	6 (3.00) B	6 (3.00) B

〈加算項目〉

中期計画・年度計画に定める項目			評価		加算 比率 % (c)	加算	
大項目	中項目	小項目	法人 (a)	評価 委員会 (b)		法人 (a×c)	評価 委員会 (b×c)
4 その他業務運営に関する重要事項	1 地域社会への貢献	(2) 市施策への協力	3	3	3	9	9

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価結果一覧

大項目1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
275 点	70	3.92 点	S	A	B	C	D

大項目2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
68 点	18	3.77 点	S	A	B	C	D

大項目3 財務内容の改善に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
45 点	10	4.50 点	S	A	B	C	D

大項目4 その他業務運営に関する重要事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
6 点	2	3.00 点	S	A	B	C	D

大項目4 その他業務運営に関する重要事項（加点項目）

小項目評価点	加点比率	加点
3 点	3	9 点

【地方独立行政法人加古川市民病院機構 年度評価実施要領（抜粋）】

別表4 大項目評価における評価の基準

評価 (評点)	コメント	評価の基準
S	中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。	$4.5 \leq X$
A	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。	$3.5 \leq X < 4.5$
B	中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる。	$2.5 \leq X < 3.5$
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。	$1.5 \leq X < 2.5$
D	中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている、または重大な改善すべき事項がある。	$X < 1.5$

備考

- 1 Xは、当該大項目内の各小項目評価の評点に別表2の配分比率を加味して導いた評価点。
- 2 評価に当たっては、当該大項目内の各小項目評価の評点から大項目全体を機械的に判断するだけでなく、必要に応じ、重要な意義を有する事項や優れた取組がなされている事項その他法人を取り巻く諸事情も考慮して行う。

(2) 大項目別評価

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

14 項目のうち、「救急医療への対応」をはじめ 12 項目で年度計画を達成しており、残りの 2 項目についても、年度計画を概ね達成している。

年度評価実施要領に基づき、小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「3.92」であり、3.5 以上 4.5 未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	(1) 救急医療への対応	5	4	4	20
	(2) 災害時における機能の強化	5	4	4	20
	(3) 感染症対策の強化	5	4	4	20
	(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25
	中項目 計	20	-	-	85 (4.25)
2 高度・専門医療の提供	(1) がん医療の充実	5	3	3	15
	(2) 循環器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	(3) 消化器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	(4) 周産期医療の充実	5	3	4	20
	(5) 小児医療の充実	5	4	4	20
	(6) センター診療機能の更なる充実	5	3	3	15
	(7) 総合診療体制とチーム医療の充実	5	4	4	20
	(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	4	4	20

	中項目 計	40	-	-	150 (3.75)
3 安全で信頼される医療の提供	(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底	5	4	4	20
	(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	5	4	4	20
	中項目 計	10	-	-	40 (4.00)
合 計		70	-	-	275 (3.92)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

[小項目評価(c) × 配分(a)] の合計 ÷ 配分(a) の合計

= 275 ÷ 70

≒ 3.92

② 特筆すべき小項目評価

1-(1) 救急医療への対応

【評価：4】

- ・心臓血管、周産母子、子どもセンターでは24時間365日の救急受け入れ体制を維持し、地域における三次救急の役割を担った成果は大きい。
- ・概ね所期の結果が得られているが、今後の取組方針として記載があるように、引き続き、不応率の低下を目指していただきたい。
- ・救急車受入要請に対する不応率が目標指数に達していないが、達成度が90%以上である。各センターでは24時間365日の救急患者受入体制を維持し三次救急の役割を担った。
- ・救急車受入要請に対する不応率は目標に届いていないが、全体としての救急車受入件数は増加しており、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしている。

1-(2) 災害時における機能の強化

【評価：4】

- ・災害拠点病院の指定、災害派遣医療チームの発足より、災害地支援の大きな役割は評価される。新型コロナウイルス感染症5類移行後も感染対策を講じて、地域医療に貢献されたことも評価される。
- ・計画を十分に達成しているとも評価しできるが、災害訓練・研修実施数が、昨年比で低下している。
- ・能登半島地震に対して災害派遣医療チーム（DMAT）、災害支援ナース、JMATを含む9名を派遣し、被災地支援を行った。加古川市の総合防災訓練に医療チームを編成して参加した。
- ・2023年度より新しく災害派遣医療チーム（DMAT）が発足し、災害時における救急体制がより整備された。

1-(3) 感染症対策の強化

【評価：4】

- ・変化する社会環境と院内リスクを勘案した感染対策を実施し、大きなクラスターの発生が無く医療を維持できた成果は大きい。
- ・公立病院として、必要十分なコロナ対応やコロナ患者の受け入れが実践できており、将来の新興感染症への対応も準備を進めている。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、県の要請に最大限対応し36床の受け入れ病床を確保した。増築棟エリアには新興感染症発生に対応可能な10床を整備した。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い受入可能病床数は減少したが、感染症の情報共有に努めていることを評価する。

1-(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮

【評価：5】

- ・高度急性期機能病床数を維持し、急性期医療終了より速やかにかかりつけ医に逆紹介する重点医療機関としての役割は評価される。
- ・いずれの数値目標も達成され、活動指標や対応事項も順調に進捗している。引き続き中期目標に向

かって、まい進してもらいたい。

- ・地域連携セミナーを開催し入院前から退院後の在宅療養までの連携体制の強化を図った。
- ・急性期治療終了からかかりつけ医に逆紹介する等、情報の共有に努め、地域の中核医療機関としての役割を果たしている。

2－(1) がん医療の充実

【評価：3】

- ・がん登録件数など目標指標の達成はみられないが、がん相談件数の増加や緩和ケアセンターの役割などは評価される。
- ・個別の項目は、ほぼ達成できているものの、数値目標が十分に達成されていない項目が複数ある。しかし、数値目標の結果は、一時的なものとの説明であったので、来年度以降の取組に期待したい。
- ・悪性腫瘍手術件数が達成率90%未満、緩和ケアチーム介入件数の達成率が70%未満であった。がん集学的治療センターが中心となり、専門治療や患者ケアを推進した。地域医療機関とセミナーや研究会を開催した。
- ・がん登録件数等の減少等において、目標値を下回っている項目が多い。しかし、相談件数は増えており、活動に結びつく事を期待したい。

2－(2) 循環器疾患にかかる医療の充実

【評価：4】

- ・24時間365日体制で急性期循環器症例の受入や、脳卒中の救急医療体制を確立・維持していることは評価される。
- ・数値目標で十分に達成できていない項目が複数あるものの、平均すると達成度は95%以上となっており、他の項目は十分に所期の目標を達成されている。
- ・24時間365日体制で急性循環器疾患の受入等、地域の心臓血管センターとしての役割を果たした。心不全連携パスの活用を推進し、心不全状態に応じたケアを地域全体で行う体制を構築している。
- ・PTAの件数は減少しているものの、リハビリテーション実施件数は大幅に増加しており、積極的な取組を評価する。

2－(3) 消化器疾患にかかる医療の充実

【評価：4】

- ・目標に到達していない検査もあるが、緊急性も高い症例への対応や高難度手術に向けた取り組みは評価される。
- ・数値目標が不十分なものの、平均達成度は約90%であり、他の項目は所期の目標をほぼ達成できている。来期、高難度手術の必要人材が確保できる予定とのことで期待したい。
- ・消化器センターでは、外科と内科の垣根を取り払い、総合的な診療体制により統合した治療を推進した。人材確保に努めて肝胆膵高難度手術症例を増やして施設基準の向上認定を目指す。
- ・目標未達の項目もあるが、新しい治療方法を推進したことを評価する。

2－(4) 周産期医療の充実

【評価：4】

- ・産科医の確保や安心できる入院・分娩環境を整備していくことが課題といえる。
- ・目標達成に向けた努力がうかがえるが、数値目標の達成度が80%台で、活動指標も十分とまではいえない。産科医の確保は難題と思いますが、何とか確保に努めていただきたい。
- ・ハイリスク妊産婦と緊急母体搬送の受入、それに伴う新生児高度医療の提供体制を万全に整備され維持している。周産期母子センターとして地域の三次救急の役割を十分に担っている。

2－(5) 小児医療の充実

【評価：4】

- ・24時間365日の受け入れ態勢を維持し、小児科救急搬送受入件数は目標指標を大きく上回っていることは評価される。
- ・数値目標は十二分に達成できているもの、小児救急の受け入れ体制整備が未達であった。しかし、具体的に対策を取られているため、今後に期待したい。
- ・低体温療法やN₂O吸入療法、気道狭窄に対するファイバー検査等、高度な治療や検査の体制整備を進めた。

2-(6) センター診療機能の更なる充実

【評価：3】

- ・中核的役割を果たす診療領域や高度治療を実施する領域について、情報収集やデータ分析を行うことにより、センター化の必要性の検討をすることを期待する。
- ・呼吸器センターの設置が完了し、PRもできている。今後は、「運用実績をみながら更なる機能の拡充」の目標に取り組んでいただきたい。
- ・「呼吸器センター」においてより高度で専門的な呼吸器疾患に対しての医療提供とそれにふさわしい知識と技術の向上、人材の育成に期待する。

2-(7) 総合診療体制とチーム医療の充実

【評価：4】

- ・概ね目標指標に到達している。各診療科が専門性を発揮し、相互に連携しチーム医療の充実を期待する。
- ・年度計画を十分に達成しており、ハイブリット手術室の設置などチーム医療の推進に向けた取り組みも順調である。
- ・各診療科が相互に連携を図り多様な病態に対応ができる治療体制を整備している。

2-(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成

【評価：4】

- ・看護職員では大学院への進学や特定行為認定研修施設として、高度で専門的な医療の提供に必要な医療従事者の確保に取り組んでいる。
- ・全ての数値目標を100%達成しているうえ、人材確保のポイントとなる初期研修医の確保も順調であるため、「学べる病院」として十分な成果を出している。
- ・急性期総合病院として、様々な症例の経験や地域医療研修などプログラムを用意して学べる病院としての機能を発揮した。特定行為認定研修施設として安全に実施出来る看護師を育成している。
- ・医師、看護師の数も目標を達成しており、研修制度も充実している。今後は、さらに高度な資格取得を期待する。

3-(1) 医療安全管理及び感染対策の徹底

【評価：4】

- ・医療安全管理を徹底しており、その結果は評価される。大きな院内クラスターの発生が無く、地域医療の提供が継続できたことは評価される。
- ・年度計画の目標は、十分達成されているが、インシデント件数や転倒・転落発生率がわずかに増加している。
- ・医療安全管理を徹底し安全で質の高い医療を継続して提供している。病院全体で新興感染症発生に対応できる体制を整備し、感染対策の強化に努めている。
- ・ヒヤリハット件数は減少しているが、インシデント件数が増加している。それ以外はISO15189の取得等、安全管理に対する意欲が感じられる。

3-(2) 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実

【評価：4】

- ・患者支援センターの医療相談件数の増加や、入院・外来患者の満足度も高い水準で維持されていることは評価できる。
- ・年度目標は、十分に達成されているものの、医師からの病状説明に対する満足度及び入院時の接遇・応対満足度が減少している。
- ・患者中心の医療を実践するため、インフォームドコンセントが徹底され、相談・支援体制が充実している。入院時重症患者対応メディエーターを配置し、また診療待ち案内メールにより外来待ち時間の短縮に努めた。

③ 評価にあたっての意見、指摘等

1-(3) 感染症対策の強化

- ・年度計画の達成状況も全て達成しており、追加すべき事項もなく評価できる。
- ・前年度と同様にコロナ患者の受け入れを行っており評価できる。また、今後の新興感染症に対する

準備も行っており評価できる。

1－(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮

- ・年度計画の活動指標の紹介率や逆紹介率をみても大きく達成しており評価できる。
- ・高齢化が進むにつれて心不全患者が増加することから、地域の医療機関と連携して当該患者を診療できる体制を構築することや、また在宅での医療・介護の連携をという観点で、かかりつけ医や介護事業者との連携の重要性がますます高まる。

2－(1) がん医療の充実

- ・目標指標のがん登録件数や手術件数は目標を達成していないが、がんに対する予防や啓蒙に力を入れていた。緩和ケア病棟の開設準備を進めてきたことや、緩和ケアチームがタイムリーに介入できる体制を整備していること、さらには活動指標のがん相談件数は増加しており、地域・在宅で課題を抱えた患者の相談に応じていることなどは評価できる。

2－(4) 周産期医療の充実

- ・医師の高齢化に伴い、分娩を受け入れる産科の医療機関が減少するなか、ハイリスク分娩や新生児ケアの受入れを行っており評価できる。また、小児科医のなかでも新生児科医の医師も減少するなか、中央市民病院は当該医師の確保や育成を行っており評価できる。
- ・中央市民病院では合併症やリスク患者だけでなくても分娩できるという PR が足りてなかった面もあるのではないかと考える。

2－(5) 小児医療の充実

- ・小児地域医療センターとして 24 時間 365 日対応しており、救急受入体制を堅持していることや、高度医療の充実ということで喉頭気管支鏡などによる治療や圏域外の受入れも行っており評価できる。
- ・小児科救急受入件数の達成状況が 126.6%となっており評価できる。

2－(8) 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成

- ・数値目標を概ね達成し、その他の取組状況も全て達成しており評価できる。専門職で構成される組織は、人材の確保や教育は競争の源泉で重要であり、それに関して昨年度と比較しても受け入れる実習生の増加や資格取得者数の増加など数値的に表れており評価できる。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

4項目のうち、「効率的・効果的な組織運営」をはじめ3項目で年度計画を達成しており、残りの1項目についても、年度計画を概ね達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「3.77」であり、3.5以上4.5未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 自律性・機動性・透明性の高い組織運営	(1) 効率的・効果的な組織運営	4	4	4	16
	(2) コンプライアンスの徹底	4	3	3	12
	中項目 計	8	-	-	28 (3.50)
2 働きやすく、やりがいのある職場づくり	(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	5	4	4	20
	(2) 働き方改革の推進	5	4	4	20
	中項目 計	10	-	-	40 (4.00)
合 計		18	-	-	68 (3.77)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

$$\begin{aligned}
 & \left[\text{小項目評価(c)} \times \text{配分(a)} \right] \text{の合計} \div \text{配分(a)の合計} \\
 & = 68 \div 18 \\
 & \approx 3.77
 \end{aligned}$$

② 特筆すべき小項目評価

1-(1) 効率的・効果的な組織運営

【評価：4】

- ・タブレット端末の活用など、各部署で目標管理を行い、進捗管理と課題の情報共有がなされていることは評価できる。
- ・年度計画を十分に達成されているため、大変すばらしいが、導入されたICTを活用したDPCデータやワークフローシステムの実際の活用・稼働状況が不明である。
- ・運営協議会の月次開催を継続し、事務局内の情報共有会議で組織横断的な対応力を強化した。各種経営指標を日計で表示し職員の経営参画意識を醸成した。
- ・ニュースレター、広報紙の発行により、地域住民に組織運営の情報を提供していることを評価する。

電子化の推進等、更なる効率化を期待したい。

1－(2) コンプライアンスの徹底

【評価：3】

- ・コンプライアンス研修への取り組み、参加者数は評価できる。多様なハラスメントに対しても対応を期待する。
- ・コンプライアンス研修参加者も昨年比で100名も増加し、その他の年度計画も達成しているが、多様化・巧妙化していくサイバーテロ対策が課題とのことであった。
- ・サイバーテロへの対応を含めた情報セキュリティへの対策の強化を行った。全職員を対象としたパワーハラスメントアンケート調査を実施し、外部弁護士等による相談窓口を継続した。
- ・サイバーテロへの対策やコンプライアンスの徹底は数値化が難しい項目であるが、常に意識していただきたい。

2－(1) やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実 【評価：4】

- ・風通しの良い組織づくり、各職員が高い専門職業人としての意識を持ち、仕事にやりがいやほこりを感じると答えた割合を高く維持していることは評価される。
- ・数値目標を達成し、アンケート結果も良好で、年度計画も達成済のため素晴らしい。しかし、やりがいづくりやモチベーションアップ対策は継続的努力が不可欠である。
- ・職員満足度達成率100%以上で、風通しの良い組織づくりや誇りを持って働ける病院を目指す風土が定着しつつある。
- ・コーチングの人数が増加しており、仕事への意欲が上昇していることがみてとれる。

2－(2) 働き方改革の推進

【評価：4】

- ・医師、看護師など業務内容を検討し、効果的な業務内容により働き方改革の推進を期待する。
- ・最新の法改正にも十分対応され、年度計画もすべて達成済みで素晴らしい。しかし、労務管理に完璧はないことから、更なる拡充を期待している。
- ・医師の働き方改革制度に対して適宜指示調整を行い、時間外勤務の削減等の取り組みを進めた。夜間の看護業務を補助するナイトサポーターを活用して業務負担を軽減している。
- ・連休の取得等の様々な取り組みを行っているが、長時間勤務実績はあまり減少していないので、更なる推進を期待する。

③ 評価にあたっての意見、指摘等

1－(2) コンプライアンスの徹底

- ・年度計画の目標を全て達成しており、また活動指標のコンプライアンス研修参加者数の数値をみても昨年度より約1割増加しており、職員のコンプライアンス意識の醸成につながっている。
- ・第三者機関により実施される病院機能評価についても、主に評価がS・A評価であり、第三者の視点からも評価されている。

3 財務内容の改善に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

「経営基盤の強化」及び「収入の確保及び費用の最適化」のいずれの項目も年度計画を達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「4.50」であり、4.5以上であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 経営基盤の強化	※ 小項目なし	5	5	5	25
	中項目 計	5	-	-	25 (5.00)
2 収入の確保及び 費用の最適化	※ 小項目なし	5	4	4	20
	中項目 計	5	-	-	20 (4.00)
合 計		10	-	-	45 (4.50)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

$$\begin{aligned}
 & [\text{小項目評価(c)} \times \text{配分(a)}] \text{ の合計} \div \text{配分(a) の合計} \\
 & = 45 \div 10 \\
 & = 4.50
 \end{aligned}$$

② 特筆すべき小項目評価

1 経営基盤の強化

【評価：5】

- ・目標指標、活動指標が達成されており、経営基盤はより強固となっていると評価できる。
- ・システムによって病院経営に関する指標をタイムリーにモニタリングし迅速な対応を実現している。

2 収入の確保及び費用の最適化

【評価：4】

- ・急性期病院に望まれる充実した体制の整備、加算の算定を開始している点、病院全体でコスト削減を意識した取り組みは評価される。
- ・概ね年度計画を達成されているが、1日あたりの患者数のほか、物価高の社会情勢ゆえ、やむを得ない部分もあり、診療材料費比率及び医薬品費比率が悪化している。
- ・診療報酬の査定原点の詳細な分析・検討を行い、各診療科にフィードバックし要注意項目に対して医師と事務が協力して対策に取り組んだ。
- ・材料費、医薬品費の値上がりが今後も続くと考えられるので、収入を増加させながら費用の削減に

も注力していただきたい。

③ 評価にあたっての意見、指摘等

1 一経営基盤の強化、2 一収入の確保及び費用の最適化

- ・単体で評価した場合に財務状況は安定的である。
- ・昨年度と比較してコロナウイルス関連補助金が 10 億円減であったが、全体としてプラスなので問題ない。

4 その他業務運営に関する重要事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている
----------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------------------

「地域社会との協働の推進」の項目について、年度計画を概ね達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「3.00」であり、2.5以上3.5未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分 % (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
1 地域社会への貢献	(1) 地域社会との協働の推進	2	3	3	6
	中項目 計	2	-	-	6 (3.00)
合 計		2	-	-	6 (3.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

[小項目評価(c) × 配分(a)] の合計 ÷ 配分(a)の合計

= 6 ÷ 2

≒ 3.00

② その他考慮すべき事項

1 一(1) 地域社会との協働の推進

【評価：3】

- ・緩和ケアを含めたボランティア数の増加や地域イベントの拡大を期待する。
- ・ボランティア登録者数の大幅な減少や、ボランティア実働時間の減少などがあるが、新型コロナウイルス感染症という非常事態に起因するものである。
- ・健康講座をオンライン開催から現地での開催を再開し、病院と地域とのコミュニケーションの場を提供した。救急フェアへ救急救命士を派遣して救急医療への啓発を行った。

- ・最近イベントも増加していると思われるので、今後は救護班の派遣等の地域社会との協働を進めていただきたい。

4 その他業務運営に関する重要事項〈加点項目〉

① 評価結果

加点 9点

「市施策への協力」の項目について、年度計画を概ね達成している。

【小項目評価による加点の算出】

中項目	小項目	加点 比率 (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	加点 (d)
1 地域社会への貢献	(2) 市施策への協力	3	3	3	9

② 特筆すべき小項目評価

1－(2) 市施策への協力

【評価：3】

- ・公立病院として、養護学校の修学旅行・ツーデーマーチ・マラソン大会に医師、看護師を派遣した。今後も加古川市の施策への協力を期待する。
- ・加古川市主催のイベントに救護班の派遣をする等、地域社会との協働を進めていただきたい。